

12月2日、ユニバーサルデザイン講演会

12月2日まで開催され、ユニバーサルデザインに取り組む参加企業や施設をマップを持って気軽に見て回れるスタイルの同イベント。最終日には、次の内容で、エンディングイベント「みんなで考えるユニバーサルデザイン講演会」とパネルディスカッションを県総合福祉センターで開催する。

開催日 12月2日(日)
13:30~16:00 (13:00 開場)
会場 沖縄県総合福祉センター1階
ゆいぽーる(那覇市首里石嶺町4-373-1)
参加費 1,000円

講演 「バリアフリーを通して」

仲本兼淳さん(KANASANツアーズ代表)

一般的な旅行プランを取り扱いながら、車イス利用者や高齢者を対象にしたバリアフリー旅行に特化した旅行代理店を経営する仲本さん。バリアフリー旅行の添乗をしながら、交通機関や施設などでさまざまな矛盾に出会うことも多いと話します。「本当に必要なバリアフリーとは？」を考えるきっかけになることでしょう。

「子育てとユニバーサルデザイン」

田仲由紀子さん(沖縄子育て子連れ情報ういず!代表)

「沖縄子育て情報サイト ういず」のHPサイト開設後、情報誌「子育て子連れ情報 ういず!」を発刊。子育てをする女性の立場から、まちや施設、暮らしの中のいろいろなものについて、「使いやすさ」「やさしさ」を考える田仲さん。「大人にも子どもにも優しい暮らしの環境をつくるには？」そう考える機会にしてください。

パネルディスカッション

パネリスト

上記講師の仲本さん、田仲さんに加え、
永山盛孝さん(団設計工房・代表)、金城雅子さん
(県インテリアコーディネーター協会・会長)が参加
コーディネーター
新里香代子さん(おきなわ建築Web・代表)

参加申込

沖縄県インテリアコーディネーター協会
☎098・859・0506



ユニバーサルデザインの空間見学

快適医療空間を体験!

今月3日から開催中の「みんなで考えるユニバーサルデザイン」のイベントの一環で、今月14日、宜野湾市志真志にあるしらゆり歯科の見学会が行われた。同医院では、入り口には車イスやベビーカーでも対応できるスロープを設けているほか、靴を履き替えるのに便利な折りたたみ式のイス、キッズコーナーやベビーカーを設置。さらに、緑豊かな箱庭を眺めながらリラックスした雰囲気での治療が受けられる演出の工夫に加え、大型モニターで治療内容の分かりやすい説明を心掛けているなど、高齢者から小さな子ども連れの

患者まで、だれもが利用しやすい配慮が随所に取り入れられている。同院の上林院長は、「患者さんが利用しやすいことを重視しながら設計者と検討を進めたら、自然にユニバーサルデザインにつながっていきました」とあいさつ。設計者である(有)ムーブランニングの上原牧子さんは、「痛いや怖いといったイメージを和らげ、楽しく通院できる空間作りを目指しました」と設計コンセプトについて説明した。参加者らは、一つひとつ手にしながら使いやすさを確かめていた。



医院作りの工夫について解説する上林院長(右端)



▲ベビーカーが設置されているほか緑が楽しめる治療スペース▶洗面台も引き出し式の踏み台を設け子どもが利用しやすい工夫